

令和2年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	令和新時代を拓く東山道×7summitプロジェクト
事業主体 (連絡先)	阿智村
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大 ア 特色ある観光地づくり
事業タイプ	ハード
総事業費	1,126,730 円 (うち支援金: 751,000 円)

事業内容

阿智村に訪れるお客から求められる屋間の観光コンテンツ不足の解消に向け、万葉集にも登場し、歴史遺産が多く存在する古道「東山道」や、近年ニーズの高まっている自然・山岳観光(トレッキング)に着目し、環境整備や人材育成に取り組んでいる。3年計画の2年目にあたる今年度は、看板設置や登山道の整備を行い、観光客の受け入れる態勢を整えた。また、7summitに関して、国定公園に指定された中央アルプスに存在する「富士見台高原」、「恵那山」、「南沢山」に国定公園のパネル等を設置し、SNS等の拡散を図った。



【看板設置の作業風景】

【目標・ねらい】

- ①阿智村の課題である日中の観光資源の拡大
- ②村内に訪れる観光客の滞在時間の増加

事業効果

- ①古道である東山道に着目し、登山道の整備やルート看板を設置することで、昼の観光コンテンツの充実と人材育成を図った。
- ②中央アルプスが国定公園に指定されたことを受け、山頂や山小屋に記念パネルを設置することで、SNSによる拡散を図った。
- ③数値
園原地区の入込客数は前年比46%(新型コロナウイルスによる影響)
セブンサミットのバッジの交付数は、187個(2年目の目標を30%以上上回った。)

※自己評価【B】

【理由】
新型コロナウイルスの影響により観光客が大きく減少したが、密になりにくいアウトドアアクティビティへの関心が高まったことで、セブンサミットのバッジ交付数が、目標値を上回った。

今後の取り組み

来年度は、3年計画で進めている本事業の仕上げと活用を行う。
具体的には、東山道の看板の追加と7summitのパンフレットの作成などを行い、登山者が安心できるように整備する。
また、イベント等を行い観光客へアピールをすることで、阿智村への観光客の増加と滞在時間の延長を図る。
ショートムービーを作成し、特に若年層に「東山道」を認知してもらう。
中央アルプスが国定公園に指定されたことを記念するイベントを開催する。